

科目名 Course Name	生活支援技術Ⅲ Independent Living Skills Ⅲ				ナンバリング No.	J1-009	
年次	1 年	期別	前期	単位数	1	授業形態	演習
担当者氏名	久保 由佳						
連絡方法	C-Learning で対応。または福祉棟 2F 研究室。オフィスアワーは授業担当時間以外。						
必修／選択	選択(介護福祉士養成課程必修)						
関連 DP	DP1, DP2, DP3						
授業の概要と 到達目標	生活支援技術Ⅲでは、生命と健康の維持のための、食事および排泄の意義と目的について学習し、自立に向けた支援を行うための基本技術を習得する。 ①食事と排泄の意義を、列挙できるようにする。 ②基本的な食事、排泄の支援方法と留意点を説明できるようにする。 ③演習での利用者役やおむつ体験を通し、利用者に合わせた支援方法を選択できるようにする。 ④臥床している人のプライバシーに配慮し、安全・安楽・的確なおむつ交換ができるようにする。						
授業の方法	講義・演習を通して、食事・排泄の意義と目的、安全で的確な支援方法、利用者のアセスメント、利用者の状態・状況に応じた支援の留意点などを講義・演習・ディスカッションを通して学習する。学生は利用者役、介護者役を体験しながら実技を学んでいくが、単に手順を覚えることに集中するのではなく、利用者の立場から介護を受けとめ、より良い方法を考えていく機会とする。						
学習成果	L01	演習を通して、自分自身の生活支援技術の不足部分を明確にし、技術向上のための練習に真摯に取り組むことができる。					
	L02	食事と排泄の意義と目的を明確にし、食事および排泄の支援に関する基礎知識を習得し、安全で的確な食事および排泄支援を、基本をふまえて実施することができる。					
	L03						
	L04						
課題に対する フィードバック	実技演習後は振り返りの時間を設け、補足説明を加えながらフィードバックする。小テスト(実技試験)の結果は、評価点やコメントを記入した評価表を返却する。返却時は解説も行う。						
教科書／ 参考図書	①最新・介護福祉士養成講座 第7巻「生活支援技術Ⅱ」第8巻「生活支援技術Ⅲ」中央法規出版 ②生活支援技術マニュアル						
履修上の留意点 やルール等	●演習時は身だしなみを整えること。●自己練習をし、技術の向上に努めること。なお、授業時間以外の介護実習室使用に関しては別途指示する。●教材以外のものは机上に置かない。●事前・事後学習に費やすべき時間の目安は各回 45 分とする。						
担当教員の実務 経験							

成績評価の方法と基準							
評価の領域	評価基準	学習成果の割合				L01	L02
		L01	L02	L03	L04		
授業参加態度	S 評価は、①授業で使用する教材を準備している。②授業に集中し、必要なことはノートにとっている。③課題の提出期限を守っている。④演習時は身だしなみを整え、積極的に取り組んでいる。	10					
レポート／作品	S 評価のレポートは、演習を振り返り、学びや気づき等、自分の考えが具体的に記述できていること。		40				
発表							
小テスト	第 14 回目に臥位でのおむつ交換の実技試験を行う。S 評価は、プライバシーに配慮し、安全・安楽・的確なおむつ交換ができていること。		20				
試験	食事と排泄に関する意義や基礎知識（支援方法・留意点）を出題する。		20				
その他	「おむつ体験レポート」を課す。S 評価は、課題を十分に理解し、適切かつ正確な資料で分かりやすく工夫した内容構成であること。	10					
合 計		20	80				

回数		授業計画
1	授業内容	ガイダンス(シラバスにそって授業概要、授業の目標と学習の成果、評価方法の説明) 自立に向けた食事の介護 食事の意義と目的 介護者の役割
	事前・事後学習	テキスト「生活支援技術Ⅱ」P74～78 を読む。配布資料を読み直す。自分の食事場面を思い出しながら、食事のあり方を考え、ノートに記載する。
2	授業内容	食事に関する利用者のアセスメント 利用者の状態・状況に応じた食事支援の留意点
	事前・事後学習	テキスト「生活支援技術Ⅱ」P79～97 を読む。配布資料を読み直す。演習に向けて、食事の支援をする際の留意点をノートに記載する。
3	授業内容	自立に向けた排泄の介護 排泄の意義と目的、介護者の役割
	事前・事後学習	テキスト「生活支援技術Ⅱ」P162～165、P198～204 を読む。配布資料を読み直す。自立した排泄の重要性をノートに記載する。排泄に関連したからだのしくみを覚える。
4	授業内容	排泄に関する利用者のアセスメント 安全で的確な排泄の支援 利用者の状態・状況に応じた排泄支援の留意点
	事前・事後学習	テキスト「生活支援技術Ⅱ」P166～197、P201～203、P210・211 を読む。配布資料を読み直す。演習に向けて、排泄の支援をする際の留意点をノートに記載する。
5	授業内容	安全で的確な食事の支援【演習】＜課題① 振り返り用紙 提出:第6回＞
	事前・事後学習	生活支援技術マニュアル P30・31 を読み、手順や根拠、留意点を確認する。課題①を記載する。
6	授業内容	利用者の状態・状況に応じた食事の支援(視覚障害、咀嚼・嚥下機能障害、運動機能障害)【演習】＜課題② 振り返り用紙 提出:第7回＞
	事前・事後学習	生活支援技術マニュアル P32、テキスト「生活支援技術Ⅲ」P15・16、P20～23、P42・43 を読み、障害特性に応じた介助方法と留意点を確認する。課題②を記載する。
7	授業内容	食事支援のまとめ(演習の振り返り、グループディスカッション)
	事前・事後学習	食事の支援での留意点や観察項目を整理して、ノートに記載する。
8	授業内容	利用者の状態・状況に応じた排泄の支援① おむつ交換【演習】 ＜課題③ 振り返り用紙 提出:第12回＞ ＜課題④ おむつ体験レポート 提出:第12回＞
	事前・事後学習	生活支援技術マニュアル P34～36 を読み、手順や根拠、留意点を確認する。繰り返し練習する。課題③④を記載する。
9	授業内容	利用者の状態・状況に応じた排泄の支援② おむつ交換【演習】
	事前・事後学習	おむつ体験レポートを作成する。
10	授業内容	利用者の状態・状況に応じた排泄の支援③ ベッド上排泄【演習】 ＜課題⑤ 振り返り用紙 提出:第12回＞
	事前・事後学習	生活支援技術マニュアル P37～39 を読み、手順や根拠、留意点を確認する。繰り返し練習する。課題⑤を記載する。
11	授業内容	利用者の状態・状況に応じた排泄の支援④ ポータブルトイレ【演習】
	事前・事後学習	生活支援技術マニュアル P40・41 を読み、手順や根拠、留意点を確認する。繰り返し練習する。
12	授業内容	排泄支援の演習振り返り【演習】
	事前・事後学習	排泄の支援での留意点や観察項目を整理して、ノートに記載する。
13	授業内容	排泄支援に関する生活支援技術のまとめ【演習】
	事前・事後学習	実技試験に向けて、練習用チェックリストを使いながら、繰り返し練習する。
14	授業内容	排泄支援に関する生活支援技術の確認・振り返り(おむつ交換) 小テスト【実技試験】
	事前・事後学習	実技の自己評価表をチェックする。実技試験を振り返り、不十分だった点やできなかった点を復習(練習)する。
15	授業内容	排泄支援のまとめ(演習やおむつ体験の振り返り、グループディスカッション)
	事前・事後学習	実習までにおむつ交換が的確にできるよう、繰り返し練習する。